

## 21. 前置詞 (3)

### 1. 前置詞と人称代名詞の融合形

ドイツ語では前置詞が代名詞とともにもちられる場合は、英語の場合と違って注意が必要です。ドイツ語では名詞が男性、女性、中性という性をもっており名詞を指し示す代名詞はその性に従わなくてはならない、ということはずでに学びましたが次の例を見てください。

Ich gehe mit meinem Freund in die Schule. 「僕は友人と一緒に学校へ行く」  
これを代名詞でおきかえると  
Ich gehe mit ihm in sie.

となり、ihm や sie といった代名詞が何を指しているのか大変わかりにくくなります。従って代名詞を前置詞とともにもちいるときには次のような決まりがあります。

- a) 前置詞とともにもちいる代名詞が「ひと」を示す場合は人称代名詞をもちいます。  
Ich reise mit meinem Freund.                      Ich reise mit ihm.  
「僕は僕の友人と旅行をする」                      「僕は彼と旅行をする」
- b) 前置詞とともにもちいる代名詞が「もの」を示す場合は da(r)+ 前置詞をもちいます。  
Ich reise mit dem Zug.                                      Ich reise damit.  
「僕は列車で旅行をする」                                      「僕はそれで旅行をする」

つまり、前置詞のあとにある人称代名詞は必ず「ひと」を示しますが「もの」を示す代名詞は da(r)+ 前置詞という特別なかたちをもちい、これを「前置詞と人称代名詞の融合形」とよんでいます。

この da はもともと英語の *there* という場所を示す副詞と同じもので「それ」という意味をもっています。しかし今ではこの da は性数格に関係なくもちいられていて、むしろ人称代名詞をもちいるより簡単だといえます。英語も昔は *therewith* や *thereof* などといったかたちでもちいていましたがいまでは廃れてしまい、わずかに *therefore* というかたちが残っているにすぎません。

前置詞が母音で始まる場合は、発音の都合上 dar- とします。

daraus 「それ(の中)から」                      darum 「そのまわりに」

3格支配の前置詞や4格支配の前置詞でも da には変化がありません。

damit 「それとともに」                      dafür 「そのために」

3・4格支配の前置詞とともにもちいれば、文意にあわせて「で」あるいは「へ」と訳しわけます。

daran 「そのきわで、へ」                      darauf 「そのうえで、へ」

in の場合のみ3格支配のときは darin とし、4格支配のときは darein として使いわけます。

darin 「そのなかで」                      darein 「そのなかへ」

現代ドイツ語では口語や慣用句では母音 a が連続すると da の a が脱落し、daran が dran [ドラン]、daraus が draus[ドラウス]などという発音しやすいかたちになることもあります。

### 2. 前置詞と疑問代名詞の融合形

英語の疑問代名詞でひとを指す *who* とものを指す *what* に相当するドイツ語の疑問代名詞はそれぞれ *wer* と *was* であり、「もの」を示す *was* にたいしては同様に wo(r)+ 前置詞がもちいられます。

Womit fahren Sie nach Berlin?                      Ich fahre mit dem Zug.  
「何に乗ってあなたはベルリンへ行きますか？」                      「電車で行きます」